

	保育指針発達過程 キーワード	幼児期指針 キーワード 「動きの多様化」と「動きの洗練化」	体幹を育む運動遊びの実践	配 慮	子供が熱中する10のポイント
0歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚、聴覚などの発達がめざましい</li> <li>・自分の欲求を表現する</li> <li>・保育者の応答的な関わりにより情緒的な絆が形成される</li> <li>・人や物に興味を示し探索活動が活発になる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベビーマッサージ ★</li> <li>・まねっこ遊び</li> <li>・ハイハイを促す遊び</li> </ul> (実践報告★)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者が目的をもって動く時は必ず数名の子供の目を見て、「今から……するからね」としっかり伝えてから動く</li> <li>・この応答的な関わりにより絆が深まり、保育者までの自発的なハイハイが出来る様になる</li> <li>・育児と介護の違いを明確にし、援助の仕方を発育刺激になる様配慮する</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子供の心拍に合い、動きたくなるテンポのよい声掛けをする 大きすぎる声、語尾伸ばし、あやし言葉は控える</li> </ol>
1歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人見知りをするようになる</li> <li>・応答的な関わりにより情緒的な絆が一層深まる</li> <li>・意思や欲求を身振りなどで伝えようとする</li> <li>・自分に向けられた気持ちや簡単な言葉が分かる</li> <li>・自発的に働きかけていく</li> <li>・象徴機能が発達に見立てて遊びができるようになる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リトミック</li> <li>・鉄棒 ★</li> <li>・手押し車 ★</li> <li>・リングバトン</li> <li>・ロープ渡り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ずつ丁寧に応答しながら、活動に興味関心を抱いた二人目三人目を逃さず導く</li> <li>・数名の保育者で囃し立てて全員を動かそうとし過ぎない</li> <li>・興味関心の自発的スイッチの入る瞬間を見逃さない</li> <li>・「一人が出来れば皆が出来たも同じ」と心にゆとりをもって、期間をかけて1人ずつ活動に参加する子が増えてくる様に行う</li> <li>・見ているのも活動に参加していると捉える</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 必要の充足より満足の充足が先 必要の充足とは大人がこうさせたいと設定する目標や整列等、大人の思いを要求する前にその内容につながる子供自身が満足する活動を行う</li> </ol>
2歳 ～ 3歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人の言うことがわかる</li> <li>・意思を親しい大人に伝えたいという欲求が高まる</li> <li>・発声は明瞭になる</li> <li>・語彙も著しく増加する</li> <li>・象徴機能の発達により盛んに模倣し、ごっこ遊びを楽しむ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄棒 ★</li> <li>・手押し車 ★</li> <li>・横転ゴロゴロ ★</li> <li>・ロープ渡り</li> <li>・リングバトン ★</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発声が明瞭になるので、保育者が一歩的に話過ぎたり号令ばかりし過ぎない</li> <li>・子供なりの返答、発声を大切に</li> <li>・行動を急がない</li> <li>・二人ずつ共感性の高まる設定を大切に</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4. 号令褒める号令褒める、号令要求の法則 やる気のスイッチ、ナイスボールの法則</li> </ol>
年少 (3歳 ～ 4歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事、排泄、衣類の着脱などもほぼ自立できる</li> <li>・平行遊びであることが多い</li> <li>・象徴機能や観察力を発揮</li> <li>・予想や意図、期待を持って行動できる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「力み」や「ぎこちなさ」が見られるが、適切な運動経験を積むことによって、年齢とともに無駄な動きや過剰な動きが減少して動きが滑らかになる</li> <li>・易しい動きから難しい動きへと、目的に合った合理的な動きができるようになる</li> <li>・自分から進んで何度も繰り返すことに面白さを感じるような環境の構成が重要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイタッチかけっこ</li> <li>・2人組で横転</li> <li>・リズム飛び</li> <li>・風船キャッチ ★</li> <li>・左右飛び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年中、年長への憧れから、遊びの目当てを見通しが分かるように伝える</li> <li>・遊びの観察も意識する</li> <li>・平行遊びを共感遊びへと変えていく</li> <li>・スタートとゴールを何度も回遊できる人的配置で、活動の満足感も子供と共感する</li> <li>・ハイタッチを常に意識する</li> <li>・横から褒めず前から褒める</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>6. 模倣、変身、共感、協力、競争、達成、克服、の要素を遊びに取り入れる</li> </ol>
年中 (4歳 ～ 5歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び方を体得</li> <li>・結果を予測して不安になる</li> <li>・決まりの大切さに気付き、守ろうとする</li> <li>・我慢ができるようになってくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と一緒に運動することに楽しさを見出す</li> <li>・環境との関わり方や遊び方を工夫できる</li> <li>・全身のバランスをとる能力が発達</li> <li>・自分たちでルールや決まりを作ることに面白さを見出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・縄跳びを2人で回して走る</li> <li>・くまさん陣取り合戦</li> <li>・鉄棒ぶらさがりジャンケン</li> <li>・ハイハイ鬼ごっこ</li> <li>・大根抜き</li> <li>・ハイタッチかけっこ</li> <li>・横転リレー</li> <li>・宝とり ★</li> <li>・バナナ鬼</li> <li>・新聞紙 バランスゲーム ★</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を楽しめば何が出来る様になるのかをしっかりと伝える</li> <li>・子供の目当てと保育者の達成目標が一致するように</li> <li>・訓練的な活動に偏らず、段階的に楽しめる構成を大切にする</li> <li>・何かが上手いかないという事はそれに関連する前段階遊びの経験が足りないと理解し、遊びを展開する</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>9. 興味関心(楽しそう・やりたい) →体験(楽しい)→体感(出来そう) →体得(できた)</li> </ol>
年長 (5歳 ～ 6歳)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉により共通のイメージを持って目的に向かって集団で行動する</li> <li>・仲間の意思を大切にしようとし、役割の分担が生まれるような協同遊びやごっこ遊びを行う</li> <li>・創意工夫を重ね、遊びを発展させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無駄な動きや力みなどの過剰な動きが少なくなる</li> <li>・共通のイメージを持って遊べる</li> <li>・目的に向かって集団で行動</li> <li>・満足するまで取り組む</li> <li>・全身運動が滑らかで巧みになる</li> <li>・これまでより複雑な動きの遊びや様々なルールでの鬼遊びなどを経験しておきたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・くまさん陣取り合戦</li> <li>・ボール早取り競争</li> <li>・けんけんリレー</li> <li>・前回りブランコ</li> <li>・箱リレー ★</li> <li>・曲に合わせてロープをジャンプ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃える集団の法則を大切に</li> <li>・仲間意識や、共感・協力・競争の3つを盛り込んだ遊びを多く経験させる</li> <li>・大人しい子、苦手意識が強い子の変化の瞬間を褒めず喜んであげる事が大切</li> <li>・評価より共感を大切に保育を行う</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>10. 遊びを通して並べる様に。「集まる・待つ・並ぶ」の法則</li> </ol>

